

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.07.No251

7月号

目次

第43回 一般社団法人 北海道建築士会 全道大会（土別大会） “集え！最北インターチェンジのまちへ”……1
青年・女性の窓……………6 〔青年委員会〕
Coffee Break……………7
information……………8

URL <http://www.h-ab.com/>

第43回 一般社団法人 北海道建築士会全道大会（土別大会） “集え！最北インターチェンジのまちへ”

■大会テーマ 「未来へつなぐ 天塩の流れ 人と大地の躍動」

■サブテーマ ～水とみどりの里で 未来を語ろう 北の建築士！～



第43回 一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長

土別支部 支部長 土岐 浩二

本大会は、平成の最後を締めくくるといふ節目の大会として、土別支部において初めて開催されることとなりました。

土別支部は「土別市」「剣淵町」「和寒町」の1市2町で組織され、本年4月に設立45年を迎えました。しかし、道内他支部と同様に会員の減少が続き、現会員数は44名と設立時の半分以下の小規模支部となっています。

そんな状況下での全道大会開催の決断は、我々支部にとって大きな不安と共に始まりましたが、本部のご指導や、道北ブロック各支部のご協力のもと、無事に開催を迎えることになりました。

土別地方は、明治32年に開拓の鋤が下ろされて以来、“^{さくぼく}朔北の大河”である天塩川や剣淵川沿いに広がる肥沃な大地を中心に、稲作を始めとする農業が基幹産業の地域で、「サフォークランド・土別」「絵本の里・剣淵」「自然の恵み野・和寒」をキーワードとしてそれぞれ個性をもったまちづくりを進めています。

隣の幌加内町朱鞠内に隠れて目立ちませんが、昨冬は累積8.5mの降雪があり、気温が-30度にせまる日も複数日ありながら、夏は30度を超えるという我々建築士にとって厳しい設計条件の地方です。しかし、開催される10月はとても過ごしやすく、秋の紅葉を感じながらお越しください。

“最北インターチェンジのまち・土別”で手つかずの自然がお迎えます。

我々建築士を取り巻く社会情勢はめまぐるしい変化の中にありますが、会員の資質向上、建築士の未来について、そして建築士相互の絆をさらに深めるため、自然の中で大いに語り合ひましょう。

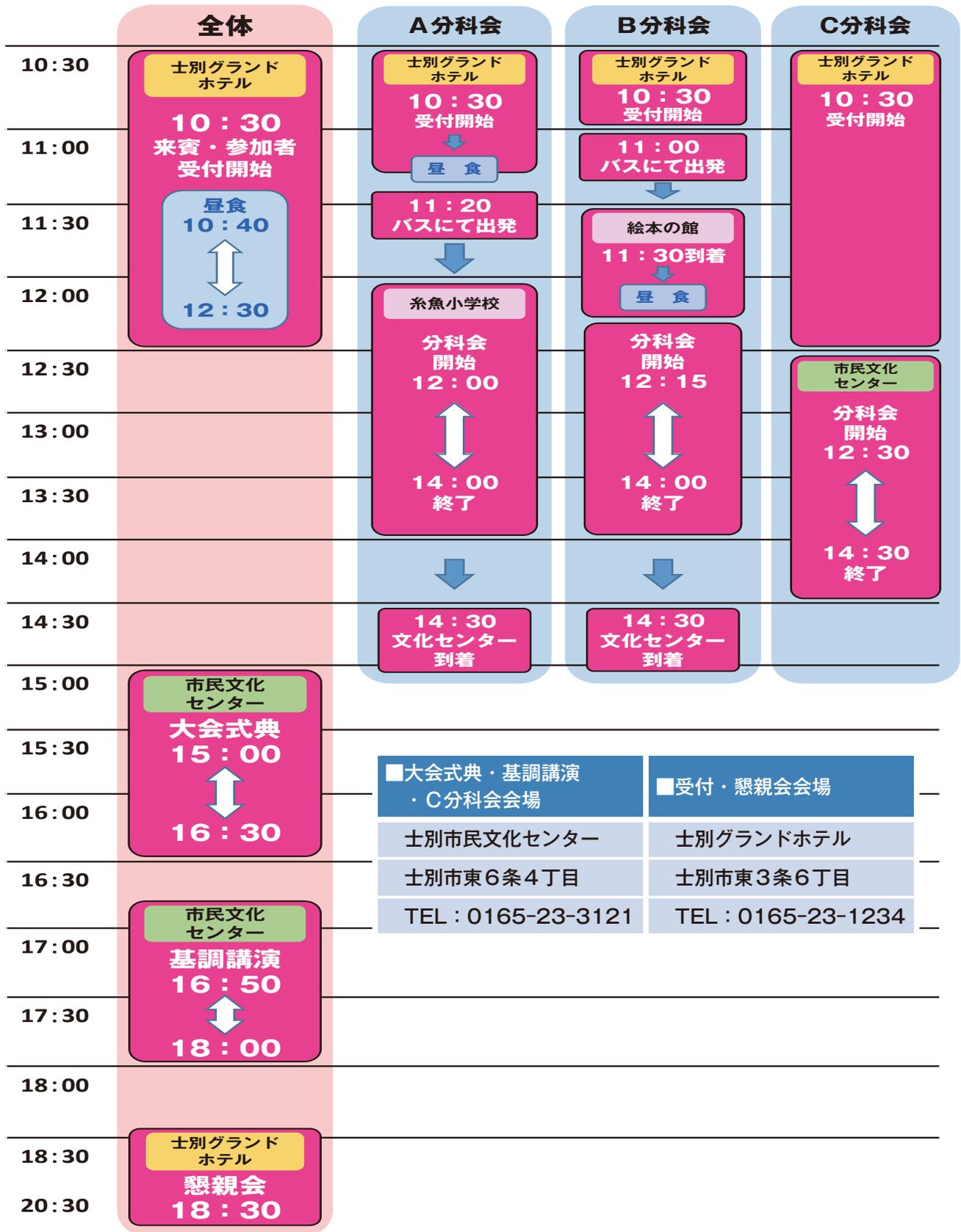
是非とも多くの皆様にお越しいただけるよう心からお待ち申し上げます。

【大会プログラム】

月日	時間	開催内容	会場
10月5日 (金)	17:30～	各ホテルから送迎バス移動	「羊飼いの家」
	18:00～20:00	青年サミット 『広げる・深めるサミット』	
10月6日 (土)	10:30～12:00	来賓・大会参加者受付開始	土別グランドホテル
	10:40～12:30	昼食（B分科会は除く）	土別グランドホテル 絵本の館（B分科会参加者のみ）
	11:20～14:30	分科会 A分科会（女性委員会）	朝日：糸魚小学校（11:20バス出発） 剣淵：絵本の館（11:00バス出発） 土別市民文化センター 研修室
	11:00～14:30	B分科会（まちづくり委員会）	
	12:30～14:30	C分科会（青年委員会）	
	15:00～16:30	大会式典	土別市民文化センター 大ホール
16:50～18:00	基調講演	土別市民文化センター 大ホール	
18:30～20:30	懇親会	土別グランドホテル 瑞雲の間	

主なスケジュール

分科会ごとに開始時間・バス出発時間・昼食時間が異なります。A分科会及びB分科会は、大会参加受付後に分科会受付が必要です。また、参加者は全員バスで各分科会会場へ移動していただきます。



分科会 分科会会場での受付はいたしませんので、ご注意ください。

A分科会 未来へはばたく力を育てる～子どもと地域と学校建築～

女性委員会

学校建築は、子どもたちが、最も多感な時期の大半を過ごす場であり、学習の場であるとともに、人間形成の場でもあります。

又、地域コミュニティの場としても重要な役割を担っています。

A分科会では、「少人数校ならではの開放的な学習空間」「自然光を活用した明るくあたたかい多目的スペース」「日常的に目にふれる部分への地場産材の活用」などが特徴の、朝日町糸魚小学校を会場に、この学校がどのような視点で設計され、子どもたちがどのような日常を過ごしているのかを知る機会にしたいと考えています。

子どもと同じ空間体験をしながら、地域の特性を活かした、魅力ある学びの場について意見交換したいと思います。

受付場所（士別グランドホテル） 受付開始 10：30 バス出発 11：20 分科会開始 12：00

昼食を申し込まれた方は、バス出発までに「士別グランドホテル」で昼食をおとりください。

B分科会 マチの知名度アップから学ぶ!! 未来へつなぐまちづくり

まちづくり委員会

「サフォークのまち」の士別、「絵本の里」の剣淵、「全日本玉入れ選手権」の和寒。士別支部を構成する1市2町はマチの特色を自らつくり上げ、知名度アップにつなげています。こういった活動は、地理的条件や歴史的背景に依存しないポジティブなまちづくり例として、全道どこの市町村でも参考にできるのではないのでしょうか。

B分科会では、「絵本の里」の拠点であり、公共建築優秀賞を受賞した「剣淵絵本の館」を会場とし、1市2町それぞれのマチの知名度アップに貢献された方々から、そのきっかけ、現在に至る道のりや苦労などのお話を伺うとともに、参加者も交えながら意見交換を行い、未来へつなぐまちづくりビジョンについて語り合いたいと思います。

受付場所（士別グランドホテル） 受付開始 10：30 バス出発 11：00 分科会開始 12：15

昼食を申し込まれた方は、「絵本の館」到着後にお弁当をお渡ししますので、分科会開始までに昼食をおとりください。

C分科会 北の大地で技術開発～士別の大地で試される世界品質

青年委員会

四季のはっきりした内陸性気候の士別市は、冬の気温が-30℃になり、積雪は平地でも1m、山間部では2mを超えるなど豪雪寒冷地帯であることから、世界的タイヤメーカーの試験場や、自動車メーカーの試験コースが設置され、冬の厳しい寒さを利用した寒冷地試験等が盛んに行われる、「試験研究のまち」です。

C分科会では、士別市内に自動車テストコースを管理・運営し、国内外自動車・タイヤ・部品メーカーの開発試験向けに賃貸業務を行う「株式会社交通科学総合研究所」の方を講師にお招きして、テストコース設立の経緯や、士別の大地で行われている試験・研究など、建築にも相通じる興味深い講演を聞き、学びたいと思います。

受付場所（士別グランドホテル） 受付開始 12：00 分科会開始 12：30

昼食を申し込まれた方は、受付会場の「士別グランドホテル」にて昼食をおとりください。

**情報委員会は今年も号外を発行！
大会の様子のあるやこれや、サムライ士別でズバっと斬り込みます！**

【応急危険度判定・机上訓練体験コーナー】随時受付！

今年から、建築士会で開催する「北海道建築士会応急危険度判定士認定講習会・机上訓練」が認定講習となりました！

そこで今回は、体験版の **ミニペーパー机上訓練** を実施いたします。（所用時間 30分）
各行事の空き時間などを利用して、「いざというとき」のために体験してみませんか！

実施場所（10：30～12：30）「士別グランドホテル」
（12：30～15：00）「士別市民文化センター」

（CPD単位 1単位）

【被災地応急支援委員会】

基調講演 テーマ：『トヨタの環境技術戦略並びに水素社会の実現に向けて』

講師：トヨタ自動車(株) チーフエンジニア 田中 義和 (たなか よしかず 1961年8月6日生)



地球温暖化や環境汚染、石油など化石燃料の枯渇が心配される中、クルマが100年後も、人々に役立ち、感動を与えられる存在であり続けるためには、エネルギーのあり方、クルマのありようが、今まで以上に大きく問われてきます。

そんな大きな課題にトヨタが出した答えが「水素を燃料に走る燃料電池自動車 (FCV)」です。

高い効率、ガソリン車に匹敵する航続距離、短い充填時間、走行中の排出物は水のみ。まさに「究極のエコカー」と呼べる非常にポテンシャルの高い環境技術が盛り込まれています。

そんな、自動車の次の100年のために、水素エネルギー社会実現の先駆者となる世界初の量産FCV「MIRAI」が、2014年12月に発売開始となりました。

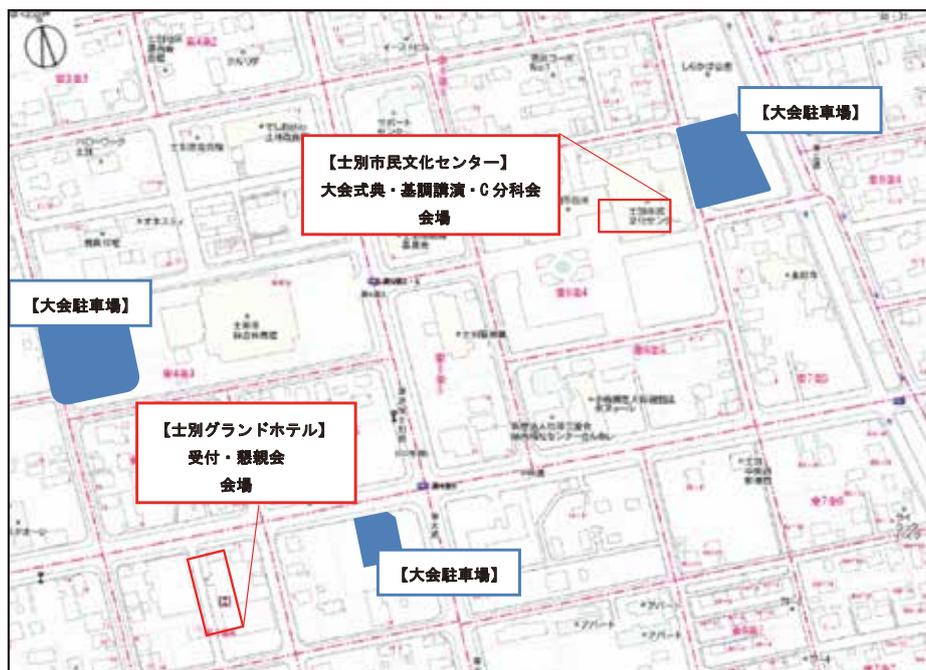
すぐれた環境性能はもとより、そのこだわりは、一目でFCVとわかる未来感のあるデザイン、乗って楽しく、まるで水の上を滑るような新しい感覚で走る異次元の走行フィール、ずっと乗っていたくなるようなクルマに仕上がっています。

そんなこれまでにない新しい価値を提供できるクルマ「MIRAI」の設計・開発の責任者として現場の指揮を執り続けたのは、プリウスPHVの開発責任者も務めた製品企画本部チーフエンジニア 田中義和氏。

トヨタエコカーの最先端の開発を続ける田中氏が、長いチャレンジともいえるFCV普及に想う持続可能な社会への貢献、そしてその一翼を担う「MIRAI」の環境性能を語ります。

「駐車場」等のご案内

◆下記の駐車場は無料です。また、大会期間中は夜間・翌日も駐車可能です。



下記の宿泊施設は、大会当日及び翌日のバスの送迎がありますので、市内の駐車場に駐車したままで宿泊施設へ移動することが可能です。

◆バス運行

大会当日：懇親会会場 ⇒ 各宿泊施設 大会翌日：各宿泊施設 ⇒ 士別市内

◆宿泊施設名

士別Inn翠月 ・ホテル美し乃湯温泉 ・レークサイド桜岡 ・和が舎

※送迎についての詳細は、各ホテルにお問合せください。

ただし、「和が舎」については、士別支部へお問合せをお願いいたします。

第43回全道大会（士別大会）会場ご案内



【宿泊施設のご案内】 ※各自で直接宿泊施設にお問合せ・お申込をお願いします。

番号	施設名	TEL 市外局番 (0165)	料金 (朝食付税込)	収容 人員	番号	施設名	TEL 市外局番 (0165)	料金 (朝食付税込)	収容 人員
1	士別Inn翠月	29-2233	6,270円～	89人	8	末次旅館	23-2534	4,428円～	22人
2	ホテル美し乃湯温泉	29-2611	6,480円～ カプセル 4,104円～	142人 (カプセル舎)	9	はとや旅館	23-2292	5,400円～	25人
3	士別市 サイクリングターミナル	22-3822	5,150円～	41人	10	甲州屋旅館	23-2064	6,480円～	45人
4	ファームイン入 (ラムダ)	22-4545	6,600円～	24人	11	池田屋旅館	23-2336	5,184円～	27人
5	レークサイド桜岡	34-3100	6,500円～	86人	12	旅館まるいし	23-3571	5,400円～	36人
6	和が舎 (わがや)	28-2339	5,660円～	20人	13	六美旅館	23-3427	4,860円～	25人
7	金子旅館	23-2013	5,184円～	25人		士別グランドホテル	23-1234	6,800円～	60人

※宿泊施設の所在地は上記の案内図に表記している番号でご確認ください。

青年委員会

青年建築士の集い (斜里大会)

～とびだせ全国大会へ！
地域実践活動発表選抜選手権～



道東ブロック長

佐々木強志 (北見支部)

世界自然遺産「知床」のまち、斜里町で5月19日に「青年建築士の集い」が知床自然センターにおいて開催されました。



知床自然センター



“集い”会場

今回も、10月に埼玉県で開催される全国建築士フォーラムの北海道ブロック代表を決める選考会とし、道内の各ブロック代表の4支部に7分間で各支部において行われている地域実践活動を発表してもらいました。予想最高気温が8℃と、この時期としてはかなり低い気温となりましたが、全道各地から総勢70名の参加をいただき、熱い選抜戦が繰り広げられました。今年の各ブロックの代表は、

・道央ブロック 小樽支部

「小樽雪あかりの路」を通して

・道南ブロック 室蘭支部

親子ふれ愛木工教室

・道北ブロック 宗谷支部

流水から学ぶ地球温暖化

・道東ブロック 中標津支部

じどうかん祭り

各支部ともに、地域に根ざした大

変すばらしい活動で、一時的に休止したものもありますが、長年継続してきたものばかりで、発表者は時々笑いを交えながら、プレゼンし、参加者も聞き入っていました。

審査については、参加者全員の投票により行い、その評価項目は

1. 【着眼点・先進性】
2. 【企画力】
3. 【地域貢献度】
4. 【今後の期待度】
5. 【ローコスト度】
6. 【プレゼン力】

の6項目をそれぞれ5段階で評価し、その合計得点で争いました。

審査結果は、全体的に評価が高く、特にプレゼン力の評価が高かった道南ブロック室蘭支部の「親子ふれ愛木工教室」が選ばれ、全国大会への切符を手にし、高野会長より推薦状が授与されました。室蘭支部青年部の全国大会での健闘を期待したいと思います。また、発表された他の支部の方も準備から発表まで大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



全国大会への切符は、室蘭支部が獲得！

休憩後、世界自然遺産「知床」で青年建築士の集いを開催できたことから、公益財団法人知床財団公園事業係長 秋葉圭太様に「世界自然遺産 知床の現在形－知り・守り・伝える現場の取り組みから－」と題して講演していただきました。知床が遺産登録されてから10年以上が経過し、知床の価値を守るため保全と利用の両立を図る新たな取り組みやビジターセンターや遊歩道など国立公園の観光利用の基盤となる施設整備のあり方についての紹介がありました。



講演会 (講師に秋葉圭太氏)

印象に残った内容として、知床五湖を散策する上で、ヒグマ出没により、散策できない日が多いため考えられたのが下の写真の高架木道で、誰でも安全に自由に出入できる整備されたエリアとガイドと一緒に入れるエリアを明確に分けてリスク回避し、観光利用と保全の両立を図っているとのことでした。このような考え方は建築にも通じるものがあるのではないかと感じました。



出典：知床財団ホームページより

知床の今を知り、建築士として考え自然と向き合う機会を得ることが出来ました。

集い終了後には、知床第一ホテルにおいて、懇親会が行われました。原斜里支部長に歓迎の挨拶を頂き、おいしいお料理と余興にと大いに盛り上がりしました。



懇親会の様子 (知床第一ホテル)

最後に開催支部の斜里支部の皆様には親会からもお手伝い頂くなど、大変お忙しい中、ご協力を頂き今年の青年建築士の集いは大成功だったと思います。本当にありがとうございました。

千歳支部 家の模型をつくってみよう

事務局員
寺島 尚吾



千歳支部は、昨年12月に千歳市で行われた「年忘れ防災フェスタ」というイベントに千歳市と共催で出展しました。

出展については、「我が家の耐震診断」という出展名で耐震に興味を持ってもらうための相談ブースや家の構造を知ってもらう工作ブースを展開しました。

耐震診断の相談ブースには、古い家なので心配で相談に来られた方もいれば、最近家を建てたばかり

りだけれども心配で来られた方もいました。このように耐震に興味を持ってくれる市民の方が増え、住宅の耐震化が促進され、安心・安全なまちづくりが形成されればとても喜ばしいことです。また、工作ブースでは、子供たちが中心となり模型づくりを行いました。柱や梁、筋交いの重要性を知ってもらい、特に筋交いをいれることで家が強くなるということに子供達は感心しながら制作していました。模型づくりを通して、地震に強い家の作り方に興味を持ってくれたことと思います。

千歳支部では、今年度もより多

くの人に千歳支部を知ってもらえるように色々なイベントに参加するとともに、子供から大人まで多くの人に楽しく建築に興味を持っていただけるように頑張っていきたいと思っています。



工作ブースの様子

函館支部 「支部だより」の発行

支部理事（情報委員長）
藤島 浩一



函館支部では、毎年「支部だより」を発行しています。担当は、情報委員会ですが、私が情報委員会に所属して20年程になり、当時は広報委員会で小学生の絵画コンクールもやっていて年中忙しい委員会でした。

事務局には、昭和37年2月発行創立十周年記念号の記録があり、「支部だより」発行は、そのまま函館支部の歴史となっています。

現在は、情報委員長としてマンネリ化しないよう心掛けています。内容は、支部活動等の様子を支部会員に周知・報告・記録することを原則としています。

例年、支部長の巻頭言、特集記事（テーマを設けての座談会、職人さんや函館の設計業界を牽引してきた先輩方の紹介）、新築建物の紹介、ビアパーティ、全国大会、全道大会、青函松交流会、賛助会の部屋（独自の事業活動報告など）、現場見学会、各委員会活動、函館市都市景観賞、松山支部、会員の趣味の部屋など、この一冊でその年の活動全般が分かるように編集しています。

日頃、事業の実施ごとに原稿の依頼者を決めて原稿依頼をするよ

うにしています。

そして、年一度の通常総会に出席出来なかった会員にも支部活動を理解して頂くことも大切なので、併せて会員名簿、役員名簿、支部規約、総会議案、事務局だより、編集後記なども掲載しています。

また、発行に際して重要な広告協賛は、毎年50社前後の企業様からご協力をいただき成り立っております。

さらに、二年前から冊子デザインを刷新して、ことし3年目を迎えました。2019年9月開催予定の全国大会（北海道大会）の函館での開催を意識し、それまで会員向けに編集していたものを一新、会員拡充や対外的にも使用できる内容にと、私が所属している函館デザイン協議会にデザインを依頼して、情報委員会にも協議会の担当者も出席してもらい実現したものです。

さらに、今年の「支部だより」は、全国大会（北海道大会）へ向けて特別ページを設けることになり、会員の皆様や関係者に全国大会への取り組みについての情報を提供することにしました。今年も、6月末発行をめざして編集作業中



編集会議の様子



支部だより表紙変遷（旧タイプ）



支部だより表紙変遷（新タイプ）



全国大会に向けて編集作業中

道士会の動き

道本部の主な会議報告（6月）

◆支部長・支部事務局長会議

（開催日）6月2日（土）

- （議題）
- 1) 北海道建築士会ありかた検討会議
 - 2) 監理技術者講習
 - 3) 被災地応急支援ネットワーク登録
 - 4) (公社)日本建築士会連合会会長表彰推薦者
 - 5) (一社)北海道建築士会会長表彰推薦者(案)
 - 6) 第62回建築士会全国大会北海道大会
 - 7) 第43回全道大会(士別大会)の実施計画等
 - 8) 平成30・31年代議員選挙
 - 9) 会費未納者の対応及び資格喪失会員

◆第2回「住教育出張講座」運営委員会

（開催日）6月2日（土）

- （議題）
- 1) 今年度の「建築士による住教育出張講座」開催
 - 2) 出張講座担当者・建築士教諭向けセミナー担当者
 - 3) 教材・指導方法についての意見交換
 - 4) 教材の販売
 - 5) その他

◆第2回事業委員会

（開催日）6月15日（金）

- （議題）
- 1) 平成30年 事業計画報告
 - ・「防水技術セミナー2018 in 札幌」の開催
 - ・改正宅地建物取引業法に対応した「既存住宅状況調査技術者講習（新規）」の開催
 - ・建築技術講習会テキストの「配布（無償）」について
 - 2) 「建築生産入門」講習会（新規）の開催

◆社会貢献に関する検討会議（青年委員会）

（開催日）6月16日（土）

- （議題）
- 1) 「社会貢献活動」に関する取り組み
 - 2) 全道大会青年サミット・分科会（士別大会）
 - 3) その他

◆ありかた検討会議

（開催日）6月18日（月）

- （議題）
- 1) 本会のあり方、運営、課題等
 - 2) その他

道本部の主な行事予定（7月）

- 1日（日） 二級建築士学科試験
 7日（土） まちづくりフォーラムin釧路
 14日（土） 第2回女性委員会
 22日（日） 一級木造建築士学科試験

関係機関等会議参加予定（7月）

- 4日（水） 東北ブロック会総会（盛岡）
 11日（水） 建築設備士試験審査会議（東京）
 26日（木） 日本建築士会連合会正副会長会議（東京）
 上記すべて高野会長出席
 27日（金） 日本建築士会連合会臨時理事会（東京）
 高野会長・吉木相談役出席
 28日（土） 青森県建築士会三八大会（八戸）
 高野会長・鈴木副会長出席

CPD認定プログラム(6月認定)

◆まちづくりフォーラムin釧路

《日程及び会場》7月7日（土） 13:00~17:30
 釧路市観光国際交流センター

《単位数》4単位

《問合せ先》(一社)北海道建築士会
 TEL 011-251-6076

◆「札幌の景観バスター清田・厚別区編」

《日程及び会場》7月7日（土） 9:30~18:30
 札幌国際大学他（札幌市）

《単位数》5単位

《問合せ先》(一社)北海道建築士会札幌支部
 TEL 011-232-1843

講習会のご案内

監理技術者講習

7月19日（木） 函館市 7月25日（水） 札幌市

建築士会全国大会「さいたま大会」へ参加しませんか

10月26日（金） 大宮ソニックシティ

来年の全国大会（函館大会・2019.9.21開催）をPRと一緒に盛り上げましょう！

詳細は、日本建築士会連合会HP又は「建築士5月号」をご覧ください。申込締切は7月31日（火）各支部へお願いいたします。※支部により締切日が異なりますので所属支部へお問合せください。

編集後記

北海道もやっと夏らしくなって来そうです。7月20日からはさっぽろ大通ビアガーデンもはじまります。短い夏を満喫したいですね。

今月号では10月5～6日開催の第43回北海道建築士会全道大会（士別大会）についての特集です。5日の青年サミットは「サフォークランド・士別」らしく「羊飼いの家」を会場に開催、6日のまちづくり委員会の分科会では「絵本の里・剣淵」の拠点である公共建築優秀賞の「剣淵絵本の館」を会場としています。ぜひ、大会に参加して頂き語らい、紅葉の季節でもある士別・剣淵・和寒の大自然も併せて堪能しませんか？

情報委員会 片岡 哲二

情報委員会委員長／斎藤 勝哉
 副委員長／早川 陽子・森 勝利・前田 繁
 委員／熊谷 智・柏倉 晶憲
 村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.251号

印刷 平成30年6月／発行 平成30年7月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011) 251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011) 811-7151番